

松江城樹木伐採について頂いたご意見について

○「築城時の城郭の景観を見たい」という趣旨のご意見

【寄せられたご意見の詳細】

- 伐採に賛成。木立を整えて石垣が見通せる城にして欲しい。
- 伐採に賛成。次は西側も伐採して欲しい。
- 城下から天守が望むことができないのは寂しい。樹木が多すぎるので整理が必要。
- 天守周辺にたくさんの木は要らない。天守が見えるように樹木整理を進めて欲しい。

【松江市の考え方】

- 松江のシンボルである松江城天守を城下から望むことができるように、自然豊かな景観とのバランスを図りながら、樹木整理も含めた「魅力ある松江城」の整備に取り組んでまいります。

○「現在の樹木のある景観が松江城にとって大事」という趣旨のご意見

【寄せられたご意見の詳細】

- 今の松江城の景観を残すことが我々の使命。自然豊かな景観が失われることは寂しい。
- 本丸に入って、森に覆われた天守が急に見えるのが良い。
- 樹木伐採により天守が見えるようにして、観光資源としての価値を高めるという理由は納得できない。
- 「緑と水」が松江らしさ。素晴らしい景観は失ったら取り返しがつかない。樹木自体が松江城にとって大切な景観を創出している。
- 100年以上の時間をかけて形成された樹林にうかつに手を出すべきではない。
- 樹木伐採は景観への影響が大きい。小さな木や石垣に影響が少ない木は残しても良いのではないか。

【松江市の考え方】

- 今回の伐採は、天守を火災から守り、石垣を保護し、将来に継承するために必要と考えています。一方、緑豊かな景観も松江城にとって重要と捉えており、伐採範囲は必要最小限にとどめています。

【参考】

※伐採対象区域＝約3,000㎡(城山公園全体のうち1.8%)

※伐採対象本数＝49本(樹木総数のうち1.5%)

- 今回の樹木伐採により、石垣の上に天守がそびえ立つ築城時の景観が甦ります。

○「伐採以外にも防火対策が必要」という趣旨のご意見

【寄せられたご意見の詳細】

- 樹木伐採が防火上の措置なのであれば、「防水施設の一層の拡充と充実」、「城内の電気施設の保守点検」など、他にやるべきことがあるのではないか。

【松江市の考え方】

- 今回防火対策を強化するため、消防設備を最新のものに更新し、拡充します。
- 電気設備の保守点検は、毎年2回実施しており、今後も継続して行ってまいります。
- 「松江城自衛消防隊」を組織し毎年放水訓練を実施するなど、万一の事態に備えた体制を整えています。

○「伐採が石垣や生態系に悪影響を及ぼすのではないか」という趣旨のご意見

【寄せられたご意見の詳細】

- 熊本地震で、石垣が崩落した原因が樹木伐採にあると聞く。地震対策として、石垣周りの大木伐採は慎重に進めるべき。
- 防火のために樹木を伐採する理由は一切見当たらず、むしろ色々な災害を引き起こす可能性が高い。
- 生物学者等の考察を踏まえ、生態系も視野に入れた防災計画に見直して欲しい。

【松江市の考え方】

- 熊本地震で、熊本城の石垣に大きな被害が発生した箇所は、明治以降に修理された石垣が中心であり、樹木伐採との因果関係は明らかになっておりません。また、樹木の成長に伴い根が石垣を押し出し、石垣を損壊する可能性が高まることから、樹齢を重ねた古木も含め、石垣保護のために伐採はやむを得ないものと考えます。
- 天守に近接する樹木から火災が延焼する恐れがあります。天守を火災から守るため、伐採はやむを得ないものと考えています。
- 動植物の専門家による現地調査の結果、今回の対象地に貴重な動植物はなく、周辺に与える影響もないことを確認しています。